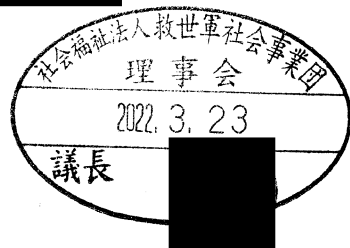
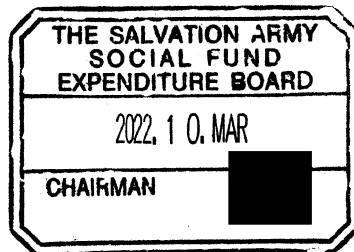
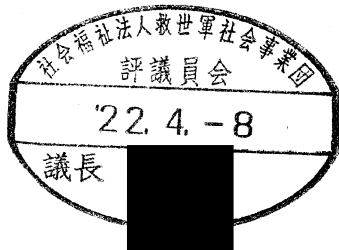


札幌市しせいかん保育園

令和 4 年度 事業計画書

法人名
法人代表者
施設名
施設代表者

社会福祉法人 救世軍社会事業団
理事長 ケネス・メイナ
札幌市しせいかん保育園
施設長 安達津恵



<目次>

1. 法人概要	-----	1
2. 施設概要	-----	2
3. 保育の方針・目標	-----	3
4. 職員に関する計画	-----	4
5. 保育に関する計画	-----	6
6. 食育に関する計画	-----	9
7. 保健に関する計画	-----	11
8. 消防に関する計画	-----	12
9. 要望・苦情に対する対応	-----	14
10. 保護者への支援	-----	15
11. 施設間交流と地域における子育て支援計画	-----	16

1. 法人概要

救世軍社会福祉事業の理念

救世軍社会福祉事業は、キリスト教の精神と、救世軍の主義に従い、すべての人の全人的な存在の価値を尊び、キリストが一人ひとりを愛されたことを模範とし、キリストに仕えるように、個人個人に仕えることをその事業の基盤とする。

1. 法人の所在地 東京都千代田区神田神保町2丁目17番地
2. 法人名 社会福祉法人 救世軍社会事業団
3. 法人許可年月日 昭和47年12月28日
4. 法人代表者 石川 一由紀

役員及び評議員名

1	いしかわ かずゆき 石川 一由紀	理事長	10	にしむら たもつ 西村 保	評議員
2	スティーブン・モーリス	理事	11	てらさわ いさむ 寺澤 勇	評議員
3	たかざわ まちこ 高澤 眞智子	理事	12	うめだ ひさえ 梅田 久恵	評議員
4	ほそがい じゅんこ 細貝 順子	理事	13	あきやま ともひさ 秋山 智久	評議員
5	くとも なおき 久富 直樹	理事	14	いしかわ かずお 石川 和男	評議員
6	いしで みちお 石出 道雄	理事	15	ほり ちづこ 堀 千鶴子	評議員
7	いぶき まさのり 伊吹 正典	理事	16	くろさわ ゆりこ 黒澤 百合子	評議員
8	しげた かつお 繁田 勝男	監事	17	しまだ ゆうじ 島田 裕司	評議員
9	うちだ はじめ 内田 肇	監事	18	つなじま みのる 綱島 実	評議員

令和4年4月1日現在

2. 施設概要

しせいかん保育園の理念

救世軍の主義および精神に基づき、保育を必要とする乳幼児が、心も身体も健全に成長するために、地域とともに歩む共同体

施設概要

種別名称	札幌市都心部子ども関連複合施設 札幌市しせいかん保育園
所在地	札幌市中央区南3条西7丁目1-1
電話 FAX	電話 011(204)9560 FAX 011(204)9570
設置主体	札幌市
経営主体	社会福祉法人 救世軍社会事業団
法人代表者	理事長 石川 一由紀
園長	安達 津恵子
建物構造	鉄筋コンクリート造り 5階建 (保育園部分 1階一部 2階一部)
建物面積	保育園部分 1,015.15㎡
事業開始	平成16年4月1日
定員	120名 (通常保育80名 夜間保育40名)
保育実施事業	産休明け保育、障がい児保育、延長保育、夜間保育、一時保育
保育年齢	0歳(産休明け)～就学前
保育時間	昼型長時間 保育時間：7時～18時 延長時間：18時～19時 昼型短時間 保育時間：8時～16時 夜型長時間 保育時間：10時～21時 延長時間：8時～10時、21時～22時 夜型短時間 保育時間：13時～21時
休園日	日曜日、祝祭日、12/29～1/3

3. 保育方針・目標

保育の方針

平成16年、札幌市による都心部4小学校の統合に伴い設置された新設校である”資生館小学校”を中心とした複合施設（資生館小学校、子育て支援総合センター、ミニ児童会館、しせいかん保育園）の保育園部分として設立される。

0歳から12歳までの子どもたちが同じ建物に居るという利点を活かし、保護者や保育および教育に関わる大人たちが子育ての見通しを持つことができるような施設である。

保育園としては、各施設との交流を通して相互の理解を深め、子どもたちが多くの大人たちに見守られながら成長していける場となるよう努力していく。

また、一人ひとりの保護者の状況を把握し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮していく。

日々の保育の中では、全面に土の入った園庭で水や泥で遊ぶとともに、散歩や戸外での活動を通して自然とのかかわりを増やしていく中で心と体の成長を促していく。

子どもたちの自我を育て、他者との関係をしっかりむすんでいけるよう育てていきたい。

保育目標

1. 心身ともに元気な子ども

- ・規則正しい生活を身につけ、自ら安全を守り危険を予測する能力を身につける。
- ・くつろいだ雰囲気でもの様々な欲求を満たし、情緒の安定した中で意欲的に遊ぶ。
- ・全身を使った遊びや運動を通して体力を養う。

2. 自分の思いを表現し、相手の気持ちを思いやる子ども

- ・積極的に遊びや生活をする中で、善悪の判断や人とのかかわりあいを学ぶ。

3. 自分のことは自分でする子ども

- ・基本的な生活習慣を身につける。

4. 職員に関する計画

園長の責務

- ・ 保育の質および職員の資質向上に努める。
- ・ 保育の計画や保育所の課題について、職員の共通理解と改善ができるように努める。

職員と職務分担

職種	数	職務分担	氏名
園長	1	経営管理、運営管理、法人関係、役所関係、業者関係、園内庶務一般	安達
主任 保育士	1	園長・担任保育士との連絡調整、保育の指導・育成、勤務表作成、勤務調整、研修および休暇者の代替え、クラスの点検、名簿作成、各種プログラム、遊具および備品の安全点検と整理整頓	
保育士	17	5歳児（かもしか組）：常勤1名	
		4歳児（あひる組）：常勤1名	
		3歳児（ひつじ組）：常勤2名	
		2歳児（きりん組）：常勤2名、パート1名	
		1歳児（うさぎ組）：常勤2名、パート1名	
		0歳児（ぺんぎん組）：常勤3名、パート1名	
		フリー：パート1名	
		延長：シフトによる常勤延長番2名	
		夜間：常勤1名、シフトによる常勤者1名	
保育補助	1	乳児クラスの保育補助	
調理員	4	給食実務全体の管理、献立確認、材料の発注受払、調理配膳、調理室清掃、食器洗浄、献立確認、調理配膳、調理室清掃、食器洗浄	
用務員	1	園内清掃	
事務員	1	園内庶務一般	
嘱託職員	1	法人理念の指導、園児への情操教育、三園連絡会への出席と助言	
嘱託医	2	園児健康診断・歯科健診	

職員の研修

- ・ 職員相互の学びあい
- ・ 外部の専門職からの学び
- ・ 既存資料の活用
- ・ 相互理解のための小学校との連携

法人研修（リーダー研修、中堅研修、新人研修）

園内会議

1. 職員会議

聖書研究、給食会議、研修報告、行事反省、次月行事予定等を行う。

2. 週末会議・乳児会議・幼児会議・夜間会議

ヒヤリハット報告、情報の共有、個別の問題の検討を行う。

3. 保育プログラム見直し会議（年3回）

3期に分けて、各クラスの担当保育士が子ども一人一人についての実践を発表し、それをもとに、次の心身の成長につなげるよう意見を交換し合う。

法人三園合同行事

1. 中堅研修フォローアップ研修（担当：しせいかん保育園）
2. 三園職員研修（担当：菊水上町保育園）
3. 三園クリスマス会（担当：桑園保育所）
4. 三園連絡会

職員の安全衛生

1. 健康診断を実施
2. インフルエンザ予防接種を実施
3. 衛生推進者を設置

福利厚生

1. 被服費支給
2. 中央区懇親会への参加

年間行事計画

月	日	行事名	担当者	ねらい
4月	中旬	父母の会総会	安達	新旧父母の交流
5月	上旬 中旬 中旬 下旬	園医健康診断（全園児） クラス懇談会 円山登山（4歳、5歳） 交通安全指導	園医 担任 担任 安達	園児の健康な成長・発達のための健診 新担任との交流と主な年間予定の話し合い 春の山登りを楽しむ 園児に安全のための生活習慣をつける
6月	中旬 下旬	園外保育（2歳、3歳） お泊り会（5歳）	担任 担任	心地よい季節を肌で感じてくる 寝食を共にして、自立を促し友達との関りを深める
7月	上旬 中旬	園外保育（3～5歳） 園医健康診断（乳児）	担任 園医	初夏の自然を楽しむ 乳児の健康な成長・発達のための健診
8月	上旬 上旬 下旬 下旬	夏祭り 園外保育（5歳） 滝野合宿（5歳） 交通安全教室（4・5歳児）	安達 担任 担任 安達	夏の祭りを楽しむことで季節感を味わう 夏の自然に触れて楽しむ 寝食を共にして、自立を促し友達との関りを深める 園児に安全のための生活習慣をつける
9月	中旬 18日 下旬	園医健康診断（乳児） 運動会 クラス懇談会	園医 安達 担任	乳児の健康な成長・発達のための健診 遊びで培ってきた心と体の成長を親と共に喜び合う 保育園生活をお知らせする
10月	上旬 中旬 下旬 下旬	円山登山（3～5歳） 味覚祭り 園外保育（5歳） 歯科検診（全園児）	担任 安達 担任 園医	秋の山登りを楽しむ 季節の収穫を味わう 秋の自然を楽しむ 園児の健康な成長・発達のための検診
11月	中旬	園医健康診断（全園児）	園医	園児の健康な成長・発達のための健診
12月	下旬	クリスマス会	安達	牧師のお話を聞き、クリスマス会を楽しむ
1月	上旬 上旬 中旬 下旬 下旬	門付け もちつき 園医健康診断（乳児） お泊り会（5歳） クラス懇談会	安達 安達 園医 担任 担任	新しい年を迎える行事を楽しむ 餅をつく時の力強さを感じ、季節感を味わう。 乳児の健康な成長・発達のための健診 寝食を共にして、自立を促し友達との関りを深める 一年間を振り返って子ども姿を伝える
2月	3日 中旬 下旬	節分 お泊り会（5歳） 入園説明会	安達 担任 安達	古来からの行事である節分にこめられた意味を知る 寝食を共にして、自立を促し友達との関りを深める 新しい友達を迎える
3月	3日 中旬 19日 下旬	ひな祭り 園医健康診断（乳児） 卒園式 進級式・お別れ会	安達 園医 安達 安達	日本の文化（琴とお茶）に触れ、心地よさを知る 乳児の健康な成長・発達のための健診 年長児の卒園を祝う 進級を喜び、お別れする人を見送る

※新型コロナウイルス感染状況により、変更が生じる場合がある。

デイリープログラム

通常保育		夜間保育	
7:00	登園	8:00	延長保育
}	【室内・戸外・ホール遊び】	}	
9:30	組別保育	10:00	組別保育
}		}	
11:30	昼食	11:30	昼食
}	【室内遊び・絵本】	}	【室内遊び・絵本】
12:30	午睡	12:30	午睡
}		}	
14:30	起床	14:30	起床
}	おやつ		おやつ
15:30	【戸外・ホール遊び】	15:30	【戸外・ホール遊び】
	組別保育		組別保育
}	(お迎え後 降園)	}	
18:00	延長保育	18:00	夕食
}	軽食	}	
19:00	降園	19:00	休息(お迎え後 降園)
		}	
		22:00	降園

6. 食育に関する計画

子どもたちの現状と食との関連

1. 現状

- ・ 生活リズムの乱れがある子が多い
- ・ 午前の活動に意欲がない
- ・ 午睡ができない、寝つくのが遅い
- ・ 目覚めが悪い

2. 食との関連

- ・ 朝食の欠食、朝食が遅い
- ・ 昼食で食欲がない（朝食が遅いため）

家庭での食文化（健康記録表より）

原因	結果	対応
手軽に既製品が手に入る便利さがある	手軽さゆえに「作る」から「買う」へと変わりつつあり、家庭独自の味が子どもたちに伝わらない	食には「文化の伝達」という側面があるという認識が必要である
仕事や生活に追われている	食事のためにかける時間が少ない	バランスを考えた食事を用意するという意識と食への関心、工夫が必要である

保育園の食育の目標

食育を通して、望ましい生活リズムを身につける。

しせいかん保育園の保育目標	食育活動で目指すこども像
・ 心身ともに元気な子ども	・ お腹がすくりズムの持てる子ども (健康づくり) 食べ物と体の関係に興味をもったり「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」の大切さが分かり、自分から生活リズムを守ろうとする力を養う。
・ 思いやりのある子ども	・ 楽しく食べる子ども (人間関係とマナー) 保育士や友達と楽しい食事をする事で愛情や信頼感を育み、自立心を育て、人とかかわる力を養う。
・ 自分の要求を持ち行動できる子ども	・ 食べることに興味や関心のもてる子ども (いのちの育ちと食) 五感を使って体験することにより食に対する知識を育て、自らも含めたすべての命を大切にする気持ちを養う。

年齢別の計画

目標	(食と健康) 健康な体を作る (食と文化) よりよい食習慣を身につける (いのちの育ちと食) 食を通じてすべての命を大切に		(食と人間関係) 保育士や友達と楽しく食べる (食と料理) 身近な素材を調理することに関心を持つ		
0歳児	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安定した人間関係の中でミルクを飲み、心地よい生活をする 一人ひとりに合わせた離乳を進め、食べる意欲を育てる 	3歳児	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に食べる楽しさを知る 様々な経験を通して食べることへの興味・関心を持つ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる大人に食べさせてもらったり、手づかみ等で自分で食べる よく遊び、食事をおいしく食べる いろいろな食品や調理形態に慣れる 食後の沐浴で体をきれいにし心地よさを感じる 促されながら、よく噛んで食べようとする 大人と一緒に仕草や片言であいさつをする 		内容	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや保育士と思い切り遊ぶことで食べようとする気持ちが増えてくる 慣れない食べ物や苦手な食べ物でも食べてみようとする 楽しく食事するために必要なきまりに気づく 5歳児の調理を見たり、できたものをおすすめ分けしてもらい喜んで食べる 食事の準備、片づけを自分でしようとする 箸を使って食べようとする
1歳児	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを整える 自我の芽生えを大切に、自分で食べようとする意欲を育てる 	4歳児	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に食べる楽しさを感じる 自分の体と食べ物に関心を持つ
	内容	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ 体を動かして遊び、空腹感を持って食べる 食べ物に関心を持ち、自らスプーンやフォーク等を使って食べようとする 様々な食べ物を食べて味覚を広げ、食べ慣れないものも食べようとする 本物の食材を見たり、絵本などで食べ物や食べ物の名前に関心を持つ 大人と一緒にあいさつをする 		内容	<ul style="list-style-type: none"> 早寝早起き朝ごはんの習慣を身につけようとする 友達と楽しく食事をしながら、箸や食器の持ち方を身につける 5歳児の調理を見たり、おすすめ分けをしてもらったりして、自分たちも 簡単な調理をして喜ぶ 汁物、おかずの盛り付けを自分でする 食事の準備、片づけを自分でする
2歳児	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で友だちや保育者と一緒に食べる 食生活に必要な基本的習慣や態度を身につけていく 	5歳児	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 野菜を育てたり、収穫の喜びを味わう 調理する楽しさを知る 食事に必要な基本的な習慣や態度を身につける
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 大人や友だちと一緒に食べることを楽しむ 保育士の真似をしたり促されたりして、よく噛んで食べようとする 食事の準備の手伝いや片づけをしようとする 食前の手洗いや食後の口拭きなどを自分でやろうとする 実物の野菜や絵本の食べ物を見たり、ままごとあそびをしたりして、 食べることに興味を持つ 		内容	<ul style="list-style-type: none"> 体の健康や病気について関心を持つ 食べ物と体の関係に興味を持ち、様々な食品を食べてみようとする 配膳や片づけを友だちと協力してすすめる 食事の習慣が身につく、友だちと楽しみながら食事をする 食事を作ってくれる人への感謝の気持ちを持つ 育てた野菜や身近な食材で調理をしたものを楽しく食べたり、 小さい子に食べてもらったりすることを喜ぶ
家庭との連携			職員の連携		
献立表、給食だより配布 <input type="checkbox"/> 食物アレルギー確認 <input type="checkbox"/> 離乳食指導 <input type="checkbox"/> ポスターやリーフレット等で食の大切さを知らせる			<input type="checkbox"/> 食物アレルギー児の対応について共通認識を持つ <input type="checkbox"/> 調理員と連携しながら離乳食をすすめる <input type="checkbox"/> 調理するときには、調理員と協力して安全に行う		

7. 保健に関する計画

日課に関して

1. 着衣など
 - ・ 年間を通して、薄着、裸足を実行する。
 - ・ 冬期間は防寒着で外遊びを楽しむ。
 - ・ 室内では、気温に合わせて半袖も着用する。
 - ・ 着衣の調節、汗の始末、水分の補給の指導をする。
2. 日光浴と散歩
 - ・ 各クラスとも太陽にあたることを大事にし、戸外での活動を重視する。
3. 手洗いとうがい
 - ・ 感染症予防のため、手洗いとうがいを励行する。
4. 水遊びの安全指導と衛生指導
 - ・ プールの水の消毒と取替えに気を配る。
 - ・ 子どもたちへの安全指導を行う。
5. 年長児の活動
 - ・ 年長児は、雑巾がけと当番活動を毎日行う。

衛生環境

1. 薬品の確認、救急箱の整理
2. 園舎内外の清掃と消毒
3. 布団乾燥
 - ・ 業者に委託して、年2回実施する。

健康に関して

1. 健康診断
 - ・ 乳児は年6回、幼児は年2回、嘱託医が実施する。
2. 歯科検診
 - ・ 年1回、嘱託医が実施する。
3. 身長・体重の測定
 - ・ クラスごとに毎月実施する。
4. その他
 - ・ 0歳児（5分毎）、1歳児（10分毎）の午睡チェックを毎日実施する。
 - ・ 頭じらみチェックを随時実施する。
 - ・ 必要に応じて、園医に相談する。

施設に関して

1. IT環境の整備
2. 物品購入及び施設整備

8. 消防に関する計画

防火管理体制

防火管理責任者	園長	
火元責任者	・ 事務室	園長
	・ 給食室	調理員
	・ ホール	事務員
	・ 休憩室	事務員
	・ 保育室	担任保育士

緊急時責任分担・自衛消防団

防火責任者	園長	
通報・連絡	事務員	防火責任者（園長）に連絡し、119番通報
初期消火	調理員 用務員	消火器を用いて初期消火の任にあたる
避難・誘導	全保育士	
探索・救護	園長 主任保育士 フリー保育士	残留児の確認、救出、誘導、 救急品持出、応急処置（必要時）
保護者への引渡し確認	各組担任保育士	必ず避難場所を確認後、保護者へ引き渡す
非常書類持出	園長 事務員	書類関係 登園表、緊急連絡網

避難訓練計画

月	訓練内容	備考
4月 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	ベルの音を聞き、保育士の誘導で避難する	訓練の大切さを子どもたちに話す 保育士は避難リュックの点検を行う
5月 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導	全館放送の指示に従い避難する	3～5歳児は、小学生と共に学校長の話を聞く

6月 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い落ち着いて避難する	いたずらに緊張や不安を与えないようにする
7月 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	保育士の誘導に従いすみやかに避難する	避難場所を的確に判断し、迅速に誘導する
8月 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示通りに機敏に避難する	プールあそび中の避難の方法を話し合っておく
9月 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導	全館放送の指示に従い避難する	3～5歳児は、小学生と共に学校長の話を聞く
10月 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	夜間保育士の指示に従い避難する	出火の連絡を園長にする 避難リュックの点検
11月 (地震・給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い、安全な場所に避難する	まず、安全な場所で待機し、合図で外に出る
12月 (小学校より出火) 避難・消火・誘導	放送をよく聞き落ち着いて行動する	訓練に慣れが出ないよう声かけをしながら避難する
1月 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の誘導に従いすみやかに避難する	できるだけ防寒着を身につけて外へ避難する
2月 (小学校より出火) 4施設合同訓練 避難・消火・誘導	全館放送を聞き、保育士の誘導で避難する	3～5歳児は、小学生と共に学校長の話を聞く
3月 (給食室より出火) 避難・消火・誘導	保育士の指示に従い、積極的に行動する	訓練を活かし素早く子どもを把握し避難する

9. 要望・苦情に対する対応

要望・苦情に対する対応

1. 要望・苦情に対応するための取り組み
 - ・ ケガの場合は保護者の了解を得て医療機関を受診させる。
 - ・ 「気軽に事務室へ相談に来てください」との張り紙を掲示する。
 - ・ ご意見箱を設置して、保護者に周知する。
 - ・ 「苦情窓口設置要綱」を保護者の目の届く位置に掲示する。
2. 苦情窓口設置要綱について
 - ・ 苦情対応規程として平成23年4月1日施行
 - ・ 苦情受付担当者：主任 [REDACTED]
 - ・ 苦情解決責任者：園長 安達津恵子
 - ・ 第三者委員： [REDACTED]
3. 要望・苦情に対する対応
 - ・ 要望・苦情を受け付けた場合、緊急会議を開催し、職員で解決にむけた話し合いを行う。
 - ・ 職員間で見解を一致させ、同じ対応を行うようにする。
 - ・ 必要な場合は、第三者委員を交えた話し合いを行う。
 - ・ 苦情にともない損害賠償が発生する場合は、東京海上日動火災保険会社で対応を行ってもらう。
4. 要望・苦情の公開方法
 - ・ 要望と苦情については、毎月、園内の掲示板に公開し、子ども未来局保育課へも報告する。
 - ・ 要望と苦情の内容および保育園での対応について明記する。
5. 情報交換
 - ・ 2ヶ月に一度、三園連絡会議の中で情報交換をする。

10. 保護者への支援

保護者への支援

保育所に入所する子どもの保護者に対する支援は、職員間の連携を図りながらとりくんでいく。

- ・保育士と保護者が子どもの成長の喜びを共感できるように支援していく。
- ・保護者との日々のコミュニケーションを大切にしながら、様々な機会を通して相談や助言などの支援に当たる。

保護者にかかわること

1. 父母の会定期総会

4月中旬

2. 父母の会

父母が主体となって体制を作り、運営を行う

各クラスごとに役員を選出

役員会は必要に応じて会長が召集する

3. 懇談会

クラス別 年3回（5月・9月・1月）

個別 年2回（6月・12月）

その他 必要に応じて行う

4. 観劇会

親子観劇会

5. 学習会

父母と職員が共に学習する場を設ける

1 1. 施設間交流と地域における子育て支援計画

目標

複合施設の特徴を活かし、小学校・ミニ児童会館との連携をはかるとともに、子育て支援総合センターと協力して地域における子育て支援を行っていく。
4施設合同での取り組みを今年度も進めていく。

対象	担当	内容
小学校との交流		事前に小学校担任との打ち合わせを行う
	安達	学習発表会見学（5歳）
	担任	小学校見学（5歳） 保小連携会議（小学校の先生と4、5歳児の担任）
ミニ児との交流		事前にミニ児童会館館長との打ち合わせを行う
	安達	行事（運動会・門付け）への招待
子育て支援センターとの交流		事前に保育園で作製した行事へのお誘いポスターを掲示してもらう
	安達	行事（観劇・クリスマス会・餅つき・門付け・節分・雛祭り等）への招待 →家庭では経験することが少なくなった季節行事を経験してもらう
地域との交流	主任	園庭を開放して親子で遊んでもらう（7月8月10月） →・子どもに泥遊びの経験をさせてあげる ・親の子育てに関する相談にアドバイスをする

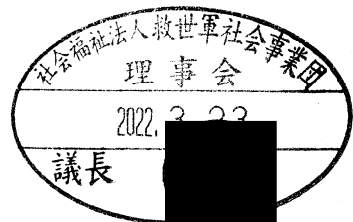
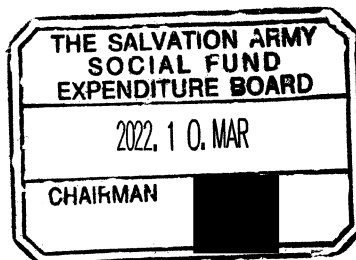
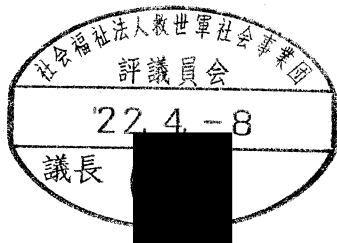
※新型コロナウイルス感染状況により、変更が生じる場合がある。

札幌市しせいかん保育園

令和 4 年度 予算書

法人名
法人代表者
施設名
施設代表者

社会福祉法人 救世軍社会事業団
理事長 石川 一由紀
札幌市しせいかん保育園
施設長 安達 津恵



令和 3年度 次期収支予算書

法人名	社会福祉法人 救世軍社会事業団
事業所名	札幌市しせいかん保育園

(資金収支の部)

(単位: 千円)

科 目	前年度予算額 (補正後)	当初予算額	増 減	摘 要 (積算内訳)
【事業活動による収支】				
0201 保育事業収入	143,202	143,604	402	
8309 委託費収入	125,228	124,526	△702	
0203 その他の事業収入	17,974	19,078	1,104	利用者数増を目指し収入増の見込み
8341 補助金事業収入	15,564	16,756	1,192	
0004 市区町村人件費補助金	6,500	6,840	340	
0008 延長保育促進事業補助金	6,824	7,132	308	
0012 市区町村その他補助金	620	1,464	844	
0013 補助事業に係る利用者負担金収入	570	570	0	
0099 その他の補助金	1,050	750	△300	
8343 その他の事業収入	2,410	2,322	△88	
0251 経常経費寄附金収入	160	84	△76	
8531 経常経費寄附金収入	160	84	△76	
0271 その他の収入	1,398	1,344	△54	
8611 受入研修費収入	30	20	△10	
0002 その他	30	20	△10	
8612 利用者等外給食収入	1,204	1,300	96	
8613 雑収入	164	24	△140	
0001 退職共済預け金差益	164	24	△140	
事業活動収入計	144,760	145,032	272	
0129 人件費支出	115,102	119,749	4,647	職員増員の見込
0283 職員給料支出	55,875	57,896	2,021	
7112 職員俸給支出	44,100	43,332	△768	
7113 職員諸手当支出	11,775	14,564	2,789	
0014 通勤手当	1,975	1,818	△157	
0099 その他手当	9,800	12,746	2,946	職員増員予定・特例処遇
7114 職員賞与支出	22,596	23,292	696	
0099 その他手当	22,596	23,292	696	
7115 非常勤職員給与支出	20,270	21,271	1,001	職員増員の見込
0002 通勤手当	1,238	1,339	101	
0003 嘱託医手当	232	232	0	
0099 その他	18,800	19,700	900	
7117 退職給付支出	2,611	2,700	89	
0001 福祉医療機構	1,068	1,157	89	
0099 その他	1,543	1,543	0	
7118 法定福利費支出	13,750	14,590	840	
0001 健康保険料・介護保険料	13,050	13,847	797	
0004 雇用保険料	700	743	43	
0130 事業費支出	18,449	17,578	△871	
7211 給食費支出	7,000	6,800	△200	
0001 利用者給食費	7,000	6,800	△200	
7215 保健衛生費支出	790	681	△109	
0001 衛生用品	650	650	0	

法人名	社会福祉法人 救世軍社会事業団
事業所名	札幌市しせいかん保育園

(資金収支の部)

(単位: 千円)

科 目	前年度予算額 (補正後)	当初予算額	増 減	摘 要 (積算内訳)
0002 医 薬 品 費	30	10	△20	
0099 そ の 他	110	21	△89	
7221 保 育 材 料 費 支 出	1,280	1,080	△200	
0001 保 育 材 料 費	600	500	△100	
0002 保 育 行 事 費	600	500	△100	
0099 そ の 他	80	80	0	
7223 水 道 光 熱 費 支 出	3,614	3,614	0	
0003 ガ ス	200	200	0	
0099 そ の 他	3,414	3,414	0	
7224 燃 料 費 支 出	2,862	2,862	0	
7226 消 耗 器 具 備 品 費 支 出	1,650	1,500	△150	
0002 課 税 物 品	1,650	1,500	△150	
7227 保 険 料 支 出	260	260	0	
0001 損 害 保 険	260	260	0	
7228 賃 借 料 支 出	963	751	△212	
0001 リ ー ス 料	826	661	△165	
0002 レ ン タ ル 料	87	40	△47	
0099 そ の 他	50	50	0	
7235 雑 支 出	30	30	0	
0099 そ の 他	30	30	0	
0131 事 務 費 支 出	5,666	4,509	△1,157	
7311 福 利 厚 生 費 支 出	527	423	△104	
0001 職 員 健 康 診 断 料	253	253	0	
0002 慶 弔 費 用	154	50	△104	
0098 そ の 他 課 税 支 出	30	30	0	
0099 そ の 他 対 象 外 支 出	90	90	0	
7313 旅 費 交 通 費 支 出	50	40	△10	
0001 交 通 費	50	40	△10	
7314 研 修 研 究 費 支 出	71	42	△29	
0001 研 修 会 参 加 費	43	14	△29	
0002 書 籍 ・ 資 料	28	28	0	
7315 事 務 消 耗 品 費 支 出	300	160	△140	
7316 印 刷 製 本 費 支 出	570	320	△250	
7319 修 繕 費 支 出	800	500	△300	
7321 通 信 運 搬 費 支 出	450	442	△8	
0001 電 話 料 金	413	412	△1	
0002 郵 便 料 金 (宅 配 便 含 む)	37	30	△7	
7322 会 議 費 支 出	12	12	0	
7324 業 務 委 託 費 支 出	1,547	1,447	△100	
0003 内 部 清 掃 委 託 料	260	160	△100	
0004 警 備 業 務 委 託 料	660	660	0	
0005 税 理 士 事 務 所 報 酬	385	385	0	
0006 社 会 保 険 労 務 士	242	242	0	

法人名	社会福祉法人 救世軍社会事業団
事業所名	札幌市しせいかん保育園

(資金収支の部)

(単位: 千円)

科 目	前年度予算額 (補正後)	当初予算額	増 減	摘 要 (積算内訳)
7325 手数料支出	706	480	△226	
0001 銀行手数料	110	110	0	
0003 産業廃棄物処理料	250	250	0	
0099 その他	346	120	△226	
7328 土地・建物賃借料支出	168	168	0	
0001 土地	168	168	0	
7329 租税公課支出	200	200	0	
0009 内部取引	200	200	0	
7331 保守料支出	65	75	10	
0004 O A、ソフト	65	75	10	
7335 雑支出	200	200	0	
0138 その他の支出	1,204	1,300	96	
7451 利用者等外給食費支出	1,204	1,300	96	
事業活動支出計	140,421	143,136	2,715	
事業活動資金収支差額	4,339	1,896	△2,443	
【施設整備等による収支】				
施設整備等収入計	0	0	0	
0144 固定資産取得支出	124	3,000	2,876	
7528 器具及び備品取得支出	124	3,000	2,876	給食室スチームコンベクション設置
施設整備等支出計	124	3,000	2,876	
施設整備等資金収支差額	△124	△3,000	△2,876	
【その他の活動による収支】				
0305 積立資産取崩収入	0	3,000	3,000	
8857 保育所施設・設備整備積立資産取崩収入	0	3,000	3,000	給食室整備費用取り崩し
0315 その他の活動による収入	1,376	1,000	△376	
8850 退職給付引当資産取崩収入	1,376	1,000	△376	
その他の活動による収入計	1,376	4,000	2,624	
0152 積立資産支出	3,000	0	△3,000	
7642 保育所施設・設備整備積立資産支出	3,000	0	△3,000	
0160 拠点区分間繰入金支出	209	209	0	
0276 拠点区分間繰入金支出	209	209	0	
7672 本部へ繰入金支出	209	209	0	
0162 その他の活動による支出	2,307	2,442	135	
7650 退職給付引当資産支出	2,289	2,442	153	
7682 過年度修正額支出	18	0	△18	
その他の活動支出計	5,516	2,651	△2,865	
その他の活動資金収支差額	△4,140	1,349	5,489	
予備費	0	0	0	
当期資金収支差額合計	75	245	170	
【資金残高】				
前期末支払資金残高	21,344	21,419	75	
当期末支払資金残高	21,419	21,664	245	